

# imation

## ネットワーク接続型ストレージ／NAS Data Appliance T5R/ R4

### リモートバックアップ 設定手順



Rev:	00
対象機器	Data Appliance T5R/ R4
発行日	2013/11/11
Firmware	03.01.4900.12
イメーション株式会社 品質管理部 技術サポートグループ	

## 目次

1. 概要 .....	- 3 -
2. 設定手順 (Site 2 にリモートサーバを設定) .....	- 3 -
1) 宛先パス .....	- 3 -
2) IP を許可 .....	- 4 -
3) その他の設定 .....	- 4 -
3. 設定手順 (Site 1 にリモートクライアントを設定) .....	- 5 -
1) サーバ IP アドレス .....	- 5 -
2) 設定項目 .....	- 5 -
3) ポリシー .....	- 6 -
① ディレクトリを追加する .....	- 6 -
② コピー .....	- 6 -
4) スケジュール .....	- 6 -
① 無効 .....	- 6 -
② 一定時間間隔 .....	- 6 -
③ 日時 .....	- 6 -
④ 週次 .....	- 6 -
5) バックアップするフォルダ・ファイルの指定 .....	- 7 -
① テスト .....	- 7 -
② 即実行 .....	- 7 -
③ サブミット .....	- 7 -
④ キャンセル .....	- 7 -
4. 設定内容の変更・保存したジョブの実行 .....	- 8 -
5. 計画停電時の電源の落とし方、および電源復帰後の起動方法。 .....	- 9 -
1) シャットダウン前の確認 (バックアップ元 - Site 1) .....	- 9 -
2) シャットダウン .....	- 9 -
3) 電源再投入と起動後の確認 .....	- 9 -

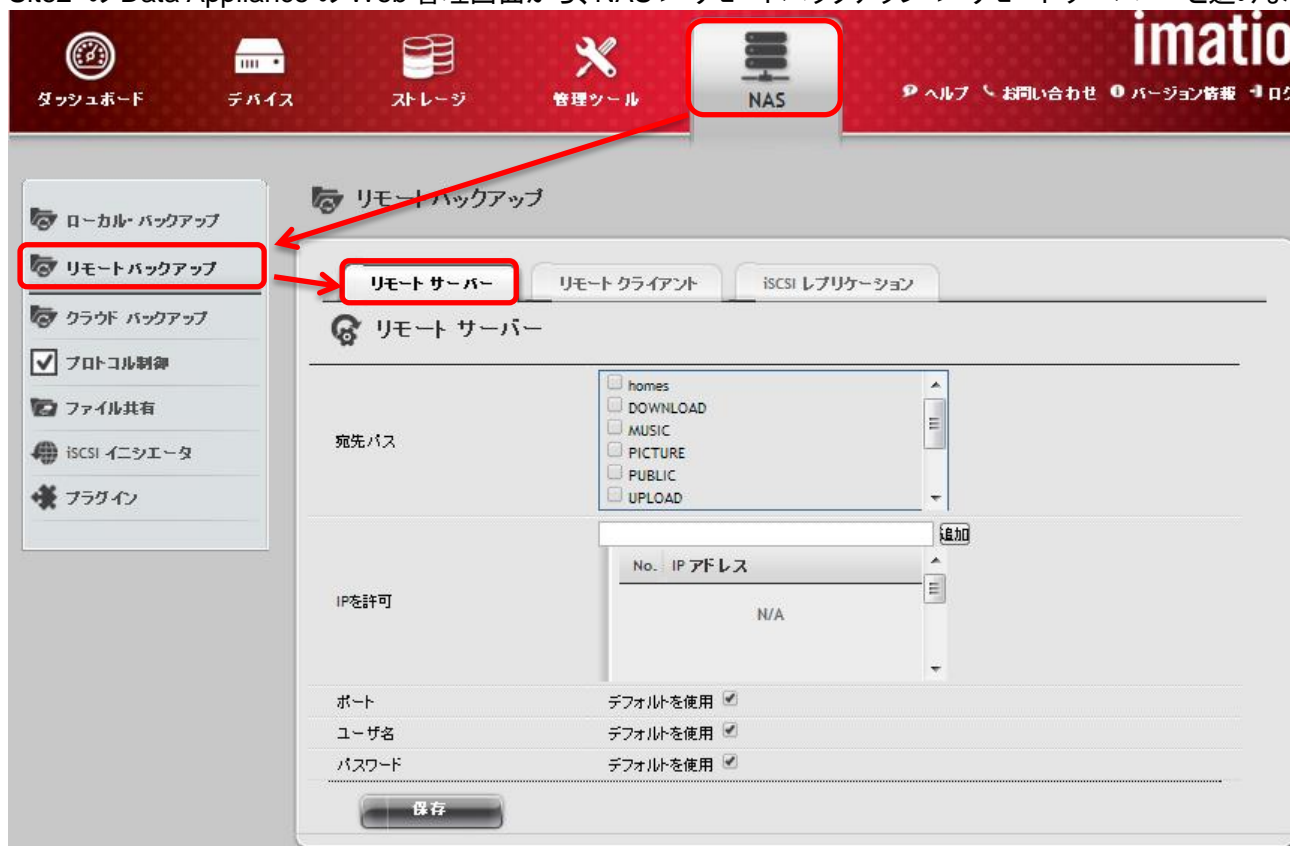
# 1. 概要

二台の Data Appliance を使用し、一つのサイトからもう一つのサイトへデータのバックアップを行う事ができます。この例では、Site 1 にリモートクライアント(バックアップ元)、Site 2 にリモートサーバー(バックアップ先)の設定をします。



## 2. 設定手順 (Site 2 にリモートサーバを設定)

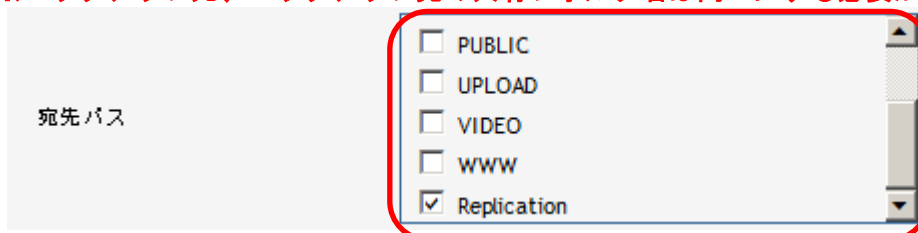
Site2 の Data Appliance の Web 管理画面から、NAS > リモートバックアップ > リモートサーバー と進みます。



### 1) 宛先パス

Site 2 の Data Appliance (バックアップ先) で、バックアップファイルを格納する共有フォルダを選択します。デフォルトで作成されているフォルダ以外を使用する場合は、事前に作成してください。

※バックアップ元、バックアップ先の共有フォルダ名は同一にする必要があります。



## 2) IP を許可

Site 1 の Data Appliance (バックアップ元) の IP アドレスを入力し、追加をクリックすると、一覧に IP アドレスが追加されます。

No.	サーバー	IPアドレス
1		192.168.11.20

## 3) その他の設定

通信するポート番号、ユーザー名、パスワードを、デフォルト以外のものを使用する場合には、チェックを外して適切な値を入力後、「保存」をクリックします。

ポート	デフォルトを使用します	<input checked="" type="checkbox"/>
ユーザー名	デフォルトを使用します	<input type="checkbox"/>
パスワード	デフォルトを使用します	<input checked="" type="checkbox"/>

※ここでのユーザー名/パスワードはバックアップのみに使用されるもので、ドメインのユーザー名/パスワード、Data Appliance のローカルユーザー名/パスワードとは無関係です。

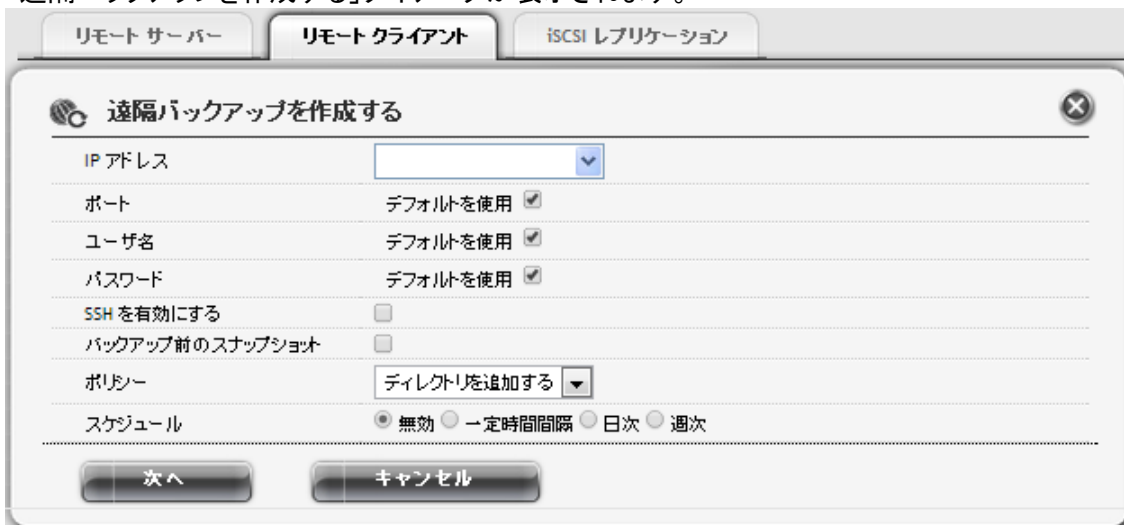
No.	IPアドレス
N/A	

### 3. 設定手順 (Site 1 にリモートクライアントを設定)

Site 1 の Data Appliance の Web 管理画面から、NAS > リモートバックアップ > リモートクライアント > 作成 と進みます。

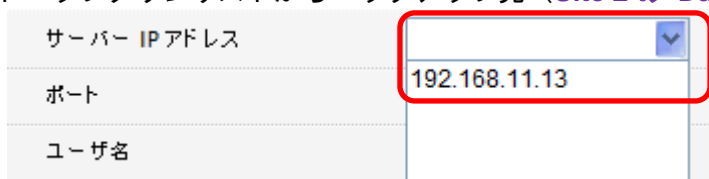


「遠隔バックアップを作成する」ダイアログが表示されます。



#### 1) サーバIPアドレス

ドロップダウンリストからバックアップ先 (Site 2 の Data Appliance) の IP アドレスを選択します。



#### 2) 設定項目

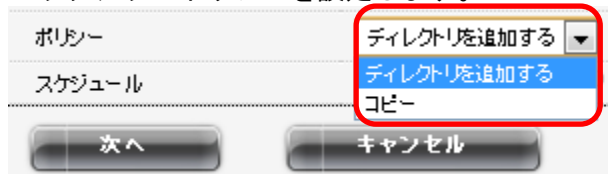
Site 2 のリモートバックアップサーバ設定(P4)でポート、ユーザー名、パスワードをデフォルトから変更した場合は、ここで同じものを設定します。

必要に応じて、SSH、スナップショットを有効にします。

ポート	デフォルトを使用します	<input checked="" type="checkbox"/>
ユーザー名	デフォルトを使用します	<input checked="" type="checkbox"/>
パスワード	デフォルトを使用します	<input checked="" type="checkbox"/>
SSHを有効にする		<input type="checkbox"/>
バックアップ前のスナップショット		<input type="checkbox"/>

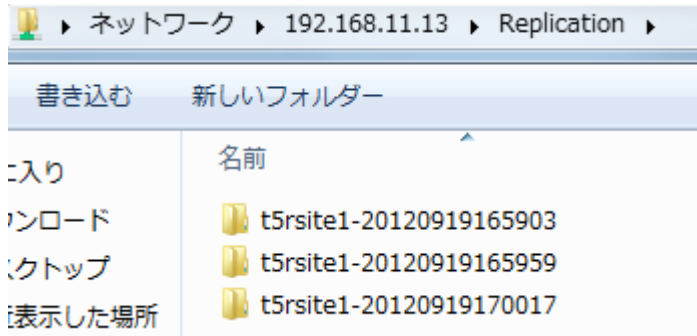
### 3) ポリシー

バックアップポリシーを設定します。



#### ① ディレクトリを追加する

バックアップ先 (Site 2 の Data Appliance) の「宛先パス」に指定したフォルダの中にフォルダが作成され、その中にファイルがコピーされます。



#### ② コピー

通常のコピーを行います。

同名のファイルは警告なしに上書きされます。

バックアップ元 (この場合は Site 1) で削除されたファイルがあっても、バックアップ先 (Site 2) のファイルは削除されません。

### 4) スケジュール

バックアップを実行するスケジュールを設定します。

※他のバックアップと実施時間が重複しないように設定してください。

#### ① 無効

バックアップの設定を作成するだけで、スケジュールを設定しません。

#### ② 一定時間間隔

指定した間隔で、バックアップを実施します。



#### ③ 日時

毎日指定した時刻に、バックアップを実施します。



#### ④ 週次

毎週、指定した曜日、時刻にバックアップを実施します。



設定が終わったら「次へ」をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "遠隔バックアップを作成する" (Create Remote Backup). It contains several configuration options:

- IP アドレス: [Input field]
- ポート: デフォルトを使用
- ユーザー名: デフォルトを使用
- パスワード: デフォルトを使用
- SSH を有効にする:
- バックアップ前のスナップショット:
- ポリシー: ディレクトリを追加する (dropdown menu)
- スケジュール:  無効  一定時間間隔  日次  週次

At the bottom, there are two buttons: "次へ" (Next) and "キャンセル" (Cancel). The "次へ" button is highlighted with a red rectangular box.

## 5) バックアップするフォルダ・ファイルの指定

The screenshot shows the same dialog box, but now it displays a file browser interface. The path is "root". Under "ファイル名" (File Name), there is a list of folders:

- DOWNLOAD
- MUSIC
- PICTURE
- PUBLIC
- UPLOAD
- VIDEO
- WWW

At the bottom, there are four buttons: "テスト" (Test), "即実行" (Execute Immediately), "サブミット" (Submit), and "キャンセル" (Cancel). The "DOWNLOAD" folder is selected, and its name is highlighted with a red box.

バックアップ元の共有フォルダにチェックを入れます。共有フォルダ名をクリックするとフォルダの内部が表示され、サブフォルダ・ファイルが選択できます。

**※バックアップ元、バックアップ先の共有フォルダ名は同一にする必要があります。**

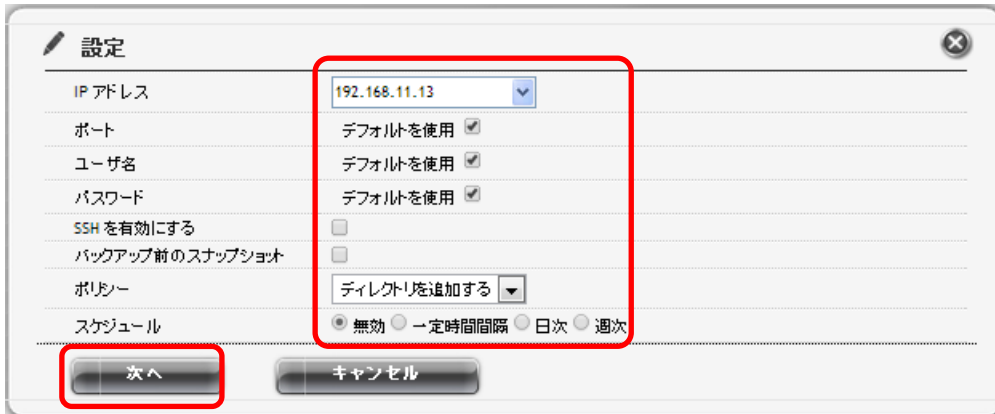
- ① テスト  
バックアップが実行可能か、バックアップ先のサーバと通信を行います。
- ② 即実行  
設定したバックアップジョブを保存し、すぐにバックアップを実施します。
- ③ サブミット  
設定したバックアップジョブを保存します。
- ④ キャンセル  
変更を破棄します。

## 4. 設定内容の変更・保存したジョブの実行

Site1 の Data Appliance の Web 管理画面から、NAS > リモートバックアップ>リモートクライアントと進みます。



変更、または実行したいジョブをマウスでポイントし、「設定」をクリックします。  
「設定」ダイアログが表示されます。  
設定を変更せず、ジョブを実行する場合は、そのまま「次へ」をクリックします。  
必要ならば設定を変更し「次へ」をクリックします。



「即実行」をクリックして、すぐにバックアップを実施するか、「保存」をクリックして変更を保存します。





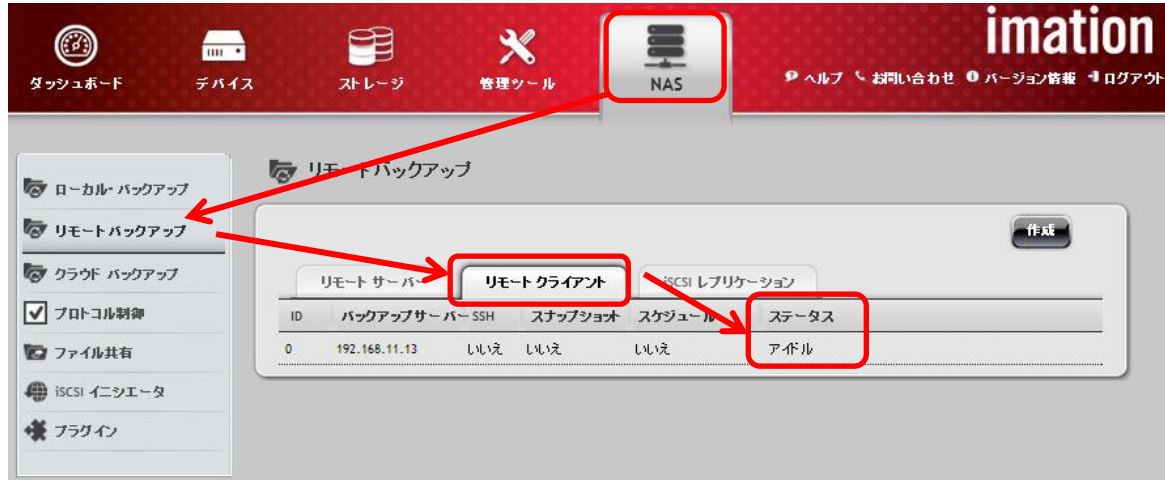
## 5. 計画停電時の電源の落とし方、および電源復帰後の起動方法。

### 1) シャットダウン前の確認（バックアップ元 – Site 1）

Web 管理画面から、NAS > バックアップ > リモートバックアップをクリックします。

バックアップジョブのステータスが「アイドル」になっていることを確認してください。

ステータスが「処理中」の場合はバックアップ中なので終了するのを待ってください。バックアップ終了まで待てない場合はそのままシャットダウンしてもかまいませんが、時間に余裕がある場合はバックアップ終了まで待ってください。



### 2) シャットダウン

バックアップ元(Site 1)、バックアップ先(Site2)の順にシャットダウンします。

### 3) 電源再投入と起動後の確認

電源復帰後、バックアップ先(Site 2)、バックアップ元(Site 1)の順に起動します。

再起動後の設定は必要ありませんが、バックアップスケジュールを組んでいる場合はそのバックアップ終了後、正常に完了したかどうか確認してください。

バックアップに失敗した場合は本体の LCD パネルにエラー表示が出るとともに、イベントログにエラー履歴が残ります。イベントログは、Web 管理画面の管理ツール>イベントから確認できます。

